

静岡県青少年育成会議の新入会員を紹介します！

NPO法人 **和のこころ**
三島市広小路町10-6
シャリエ三島広小路レジデンス1209
TEL 090-4713-4913



共に喜び、お互いが輝けるような居場所づくり！を掲げ、地域のボランティア活動に参加し、清水町教育委員会が主催のイベント企画・運営を行いました。地元で頑張っている音楽家や職人、歴史など様々なジャンルで研究している方を発掘し企画・運営をしています。
年に数回、近隣でバーベキューやハイキング、美術館鑑賞をします。昨年2022年9月は三島市民合唱祭に出場いたしました。

特定非営利活動法人
子育てサークルネットしずおか
TEL 054-374-3154



運営している“学習ルームあしたば”は、不登校生や勉強の苦手な子ども、ひとり親家庭、経済的ハンデのある子どもなど、勉強したくても思うようにできない環境の子どもたちの居場所型学習ルームとして、令和3年9月に活動をスタートしました。元教員、家庭教師、塾講師のほか、交流分析士、教育相談員など子育て支援に携わる者などの社会人の有志ボランティアたちが無償で子どもたちの学習のサポートを行っています。

株式会社 **エスパルス**
静岡市清水区三保2695番地1
TEL 050-9002-5917



株式会社 **東海道シグマ**
静岡市葵区御幸町8番地の1 JADEビル6階
TEL 054-272-0206

清水エスパルスは「市民球団」として誕生し、2022年に30周年を迎えました。
清水エスパルスは、地域とのつながりをさらに深め、その思いを共有できる仲間とともに、共通の課題を解決し、地域の笑顔を増やすための活動「Jリーグ社会連携活動 シャレン！」に取り組んでいます。エスパルスの選手・スタッフ・職員等が小学校を訪問してゲスト講師になり、算数や理科などにサッカーを関連付けた内容や、社会に出て必要なチカラを考えるキャリア教育授業「エスプラス」を行っています。



ふじのくにユースネット

FUJINOKUNI YOUTHNET

令和4年度子供・若者育成支援強調月間
静岡県大会in 袋井市 を開催しました！

開催日：令和4年11月27日（日）
場所：袋井市メロプラザ
参加人数：298人

静岡県青少年育成会議では、全国子供・若者育成支援推進強調月間に合わせ、11月を「静岡県子供・若者育成支援強調月間」と定めています。



袋井市立笠原小学校放課後子ども教室「笠原太鼓」のみなさんによる、郷土太鼓のパフォーマンス。会場に、和太鼓の力強い音が響きました。



池上静岡県教育長



大場袋井市長



静岡県青少年育成会議石井副会長から、青少年団体等の顕彰受彰者に表彰状と楯が授与されました。



浜松学芸高等学校eスポーツ部の皆さんに、eスポーツの魅力や、学校や地域での活動について紹介していただきました。



スマホ世代の子どもとどう向き合うか
～おとなの知らない子どもの世界～
講師：石川結貴氏

ジャーナリストとして活躍する石川氏に、子どもたちをとりまくゲームやネットの状況について、取材の記録を交えながら御講演いただきました。

目次

令和4年度子供・若者育成支援強調月間静岡県大会in 袋井市	1
「青少年団体等の顕彰」受彰者紹介	2
特別寄稿	4
広報啓発活動・令和4年度「県民運動推進事業費補助金交付事業」紹介等	5
新規加入団体紹介	6

【編集・発行・入会問い合わせ】
静岡県青少年育成会議事務局
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
静岡県教育委員会社会教育課内
TEL 054-221-3305 FAX 054-221-3362
Email kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp

「地域の子供は、地域の大人が育てる」
静岡県の子供・若者の健やかな成長を支えます！
静岡県青少年育成会議

「青少年団体等の顕彰」受彰者紹介

(順不同・敬称略)

地道な地域貢献活動を続ける

青少年(1名)、青少年指導者(4名)、青少年団体(4団体)、青少年指導者団体(2団体)が受彰しました

青少年の部



しらはた まお
白幡 真緒
(藤枝市)

在学する高校のインターアクト部や、藤枝光文庫に所属し、点字絵本や点字歌集、点字カレンダーを製作。全国の視覚特別支援学校や県内の視覚障害者福祉施設に寄贈するなど、障害者福祉の向上に貢献している。

表彰式



受彰おめでとうございます!

青少年指導者の部



あいはら まさかず
相原 正和
(駿東郡小山町)

平成19年から15年以上、小山町下谷子ども会の世話人として活動。幅広い人脈を生かして、地域と子どもが連携した事業を運営する。豊かな発想で新しい事業を企画・運営し、明るく住みよい地域づくりに貢献している。

青少年指導者の部



うんの じゅん
海野 純
(袋井市)

平成18年から16年以上、スクールガードリーダーを務める。保護者・学校・地域が一体となった防犯体制づくりに力を入れ、防犯指導、子ども向け標語や防犯ソングの制作等、地域の子どもの安全・安心に貢献している。

青少年指導者の部



きむら みえこ
木村 美恵子
(浜松市中区)

平成14年から20年以上、街頭補導活動や声掛け運動などの活動を通して、地域の青少年の見守り活動を続けている。青少年が集いやすい場所を巡回し、子どもたちが安全・安心に暮らすことができる地域づくりに貢献している。

青少年指導者の部



はせがわ そのえ
長谷川 園枝
(田方郡函南町)

平成5年から28年以上、スポーツ少年団の代表を務め、競技だけでなく礼節についても指導。地域の大人を指導者として迎えるなど、子どもと地域が関わる機会をつくり、子どもが安全・安心に過ごせる地域づくりに貢献している。

広報啓発活動を行いました

10月に国立中央青少年交流の家で開催された「オープンハウス2022」で、子供・若者育成支援強調月間キャンペーン活動として、広報啓発活動を行いました。



来場した親子約300名に、啓発品を配布しました。

困難を有する子供・若者への支援体制の充実に係る研修会(内閣府事業)を開催

ひきこもり支援をテーマに研修会を行いました。



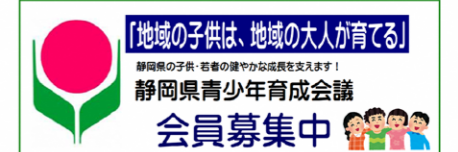
開催日：令和4年12月19日(月)
場所：静岡県庁
内容：講演「ひきこもり支援の現状と課題」
講師：杉浦 正二郎氏(アンダンテ)
県内自治体の取組紹介(掛川市・富士市)等

Jリーグ公式戦でのキャンペーン活動

清水エスパルス | A | スタジアム
ジュビロ磐田 | ヤマハスタジアム
藤枝MYFC | 藤枝総合運動公園サッカー場
アスクラロ沼津 | 愛鷹広域公園多目的競技場

11月は「子供・若者育成支援強調月間」

静岡県青少年育成会議・静岡県青少年対策本部
(静岡県、静岡県教育委員会、静岡県警察本部)



入会は、事務局(静岡県教育委員会社会教育課内)
054-221-3312へ 静岡県青少年育成会議 検索

11月に、Jリーグ県内4チームの協力を得て、スタジアム内電光掲示板やアナウンスにより、強調月間の趣旨について、広報を行いました。

青少年育成会議会員、民間支援団体、市町職員、県職員など多くの方に御参加いただき、有意義な研修会になりました。

令和4年度 県民運動推進事業費補助金交付事業

青少年育成県民運動の積極的な展開を図るため、青少年の健全育成のために実施する下記の8団体の事業に対し、本会議から3万円を上限に補助金の交付を決定しました。

団体名	
レク楽の会	特定非営利活動法人 e-Lunch(イーランチ)
富士根南小学校応援団「愛育会(PTA)+C(地域)」	下田市青少年健全育成連絡協議会
まきのはら水辺の楽校	認定NPO法人 COMPAS
静岡大学人文社会科学部	NPO法人 グリーントラストジャパン

(令和5年1月現在)

青少年団体の部



静岡県立中央特別支援学校
(静岡市葵区)

麻機レンコンの栽培農家が減少していることを聞いた児童生徒たちが、地域の方の協力の下、自ら麻機レンコンのプランター栽培に取り組んでいる。その成果や麻機レンコンの魅力を学習発表会やHPで公開し、地域産業の活性化に貢献している。

青少年団体の部



静岡県立富士宮北高等学校 生徒会
(富士宮市)

生徒会執行部の発案から、富士宮市内で地域清掃交流会を実施している。河川の水草刈りや、水中のゴミ拾い等、力の必要な作業や、つらい姿勢で行う作業に協力。地域の方々に大変喜ばれ、地域との交流にもつながっている。

青少年団体の部



特定非営利活動法人 Earth Communication
(御前崎市)

御前崎市の地域資源を活用した自然保護活動などを立案、実施。参加した子どもたちが地元の魅力を再発見し、多くの人と交流する場となっている。また、過去の参加者が指導者として事業に関わり続けるなど、学びの循環が生まれている。

青少年団体の部



ボーイスカウト静岡県連盟 大仁第1団
(伊豆の国市)

50年以上にわたり活動。団の発足以来、道路や河川のゴミ拾いを継続して実施している。市内の小中学校への河津桜の植樹も行っており、各学校からは大変喜ばれている。日常的に活発な活動を維持し、地域の青少年育成に貢献している。

青少年指導者団体の部



湖東スポーツ・文化クラブ
(浜松市西区)

平成14年から、総合型地域スポーツクラブとして活動。地域に住む大人がボランティアの指導者となり、子どもたちにスポーツや音楽を教えている。活動をとおり、地域の絆や一体感を育み、青少年の健やかな育成に貢献している。

青少年指導者団体の部



諸井里山会
(袋井市)

平成14年から里山を整備し、地域住民の憩いの場、子どもたちの体験の場として提供している。里山を活用する事業をとおり、地域の子供と大人、学校がつながる機会を創出。青少年健全育成と明るく住みよい地域づくりに貢献している。

スマホ世代の子どもとどう向き合うか～おとなの知らない子どもの世界～

石川 結貴

コロナ禍による自粛生活の長期化等の影響で、子どものインターネット利用時間は増加しています。総務省の『令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査』によると、平日1日あたりの平均利用時間は小学生・約3時間20分、中学生・約4時間20分、高校生・約5時間30分に達します。

オンラインゲーム(スマホゲーム)、SNS、動画視聴などの利用形態がありますが、おとなにとってはなかなか理解できず、「ついていけない」と感じている人もいます。

一方で、ゲームやSNSを通じてさまざまなトラブルを抱える子どもも少なくありません。

たとえばゲームの「課金」(有料のアイテム等を購入すること)です。全国の消費生活センターに寄せられたゲーム課金の相談内訳(2021年)では、10歳未満・17万2千円、10～17歳・34万9千円という課金額が報告され、深刻な実態が浮き彫りとなっています。

SNSではツイッターやフェイスブック、LINEといった主要SNSだけでなく、相手の人と会話して仲良くなる「ボイスSNS」も人気です。不特定多数の人と簡単に話せるだけでなく、つながった相手からポイント(チップ)をもらえると、貯まったポイント数に応じてアマゾンギフト券などと交換できます。

こんなふうに利用者を囲い込む仕掛けがあるため、ちょっとした好奇心ではじめた子どもがつい深入りしてしまうことも多いのです。

子ども同士のいじめにも、SNSやTikTokなどの動画投稿アプリが使われています。「死ね」といった誹謗中傷メッセージを送りつけたり、集団で誰かに嫌がらせをしている様子を動画撮影したりして、被害者の心身に被害を与える場合もあります。

子どものいじめを不安視するおとなは多いですが、具体的にどう対応すればいいのかかわからず、被害を受けた子どもの相談態勢が整っていないケースも散見されます。まずはおとなが手元のスマホで「SNS いじめ 相談窓口」、「ネットいじめ 被害 対応方法」などのキーワードで検索し、事前の情報収集をしてください。その上で子どもたちに「こんな方法で解決できる」、「秘密は守る」、「必ず力になる」と伝えることが大切です。

ネットやスマホに苦手意識を持つおとなでもできる範囲で情報収集し、知り得た情報を会話の糸口にして子どもと話し合うことは可能です。「○○のゲームについて調べたらこんな危険性があるようだけど、あなたは大丈夫?」などと、子どもの利用状況に応じて問題点を改善するための意見交換をしてみましょう。

そもそもネットやスマホは「使い方次第」です。無料のオンライン学習塾や学習動画を利用して自宅で勉強したり、海外の人と交流しながら語学を学習したり、自分の興味のある分野を探索したりと、将来に役立つ利用方法もたくさんあります。

おとなが一方向的に「使うな」、「危ない」と規制しても現実的な効果は乏しいでしょう。それよりも、「ゲームの時間を少し減らして、無料の語学学習サイトで英語を勉強してみたら?」などと、ネットやスマホの有益な使い方を提案したほうが響きます。

また、おとなの人生経験、たとえばいじめを受けた過去、努力しても報われなかった体験などを率直に子どもに伝えましょう。さまざまな苦悩や失敗、後悔はあっても、人はそれらを乗り越えていく、そうした「現実生活を生き抜く力」について子どもと話し合ってください。

どれほど社会環境が変わろうと、人が生きていく基盤となるものは変わりません。「あなたはがんばっている」、「あなたは必要とされている」、「あなたがいてくれてうれしい」、そんなメッセージを伝え、子どもたちが前を向く力、自分を肯定できる強さを育ててほしいと思います。



子供・若者育成支援強調月間静岡県大会では、石川氏と浜松学芸高等学校eスポーツ部による対談を実施。インターネットやゲームの利用について、率直な意見が交されました。